

株主の皆様へ

第118期
中間報告書

平成21年4月1日から平成21年9月30日まで



中外鉱業株式会社

株主の皆様へ



代表取締役社長 安藤 道明

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当社は平成21年9月30日をもちまして第118期（平成21年4月1日から平成22年3月31日まで）の第2四半期累計期間を終了いたしましたので、ここに営業の概況についてご報告申し上げます。

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、昨秋以降の世界的な金融・経済危機による実体経済への影響から、企業の収益の悪化や雇用環境は依然として厳しい状況にあります。

雇用不安による個人消費は引き続き低迷しており、国内景気は低調のまま推移いたしました。

貴金属リサイクル業界におきましては、金・銀・プラチナ等の貴金属価格は回復基調にあるものの、景気低迷による需要の減少から低調に推移いたしました。

当社の主力とする貴金属事業につきましては、金

精製設備の増強および金原料の仕入強化に伴い金の生産量は増加いたしました。が、商事部門の売上が大幅に落ち込んだことから、売上高は前年同期比6億66百万円減少の156億6百万円となりました。

不動産事業につきましては、首都圏分譲マンション等の価格下落や住宅ローン減税の拡充等の影響により、一部で在庫調整が進捗するなど好転の兆候がみられるものの、企業収益の悪化に伴う主要都市におけるオフィスビル、商業施設の空室率の上昇および賃料水準の下落等により不動産市況は悪化し、売上高は、前年同期比45億56百万円減少の2億68百万円となりました。

機械事業につきましては、新興国など一部で景気悪化の底打ちが見られるものの、世界的な景気後退による工作機械の受注は依然低迷を続けております。

また、当社が展開する中古工作機械事業においても設備投資抑制の影響を大きく受け、売上高は、前年同期比6億87百万円減少の2億56百万円となりました。

今期から再開した投資事業の売上高は、90百万円となりました。

この結果、連結売上高は、前年同期比58億18百万円減少の162億22百万円となりました。

連結営業損益は、機械事業が収益改善となったものの、貴金属事業、不動産事業ともに減益となったことから、前年同期比28億80百万円減少の5億90百万円の損失となりました。

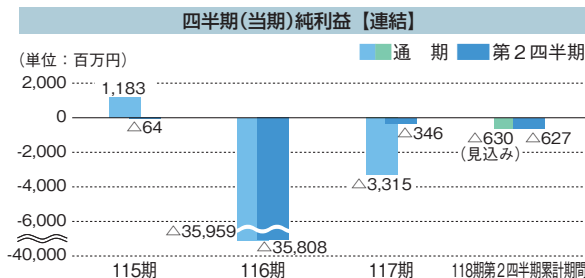
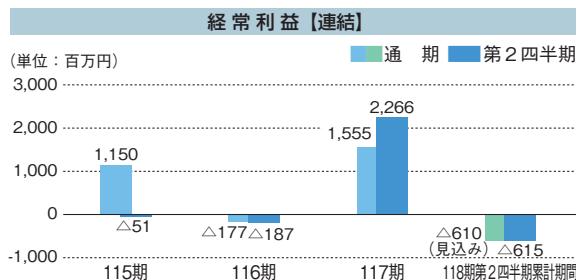
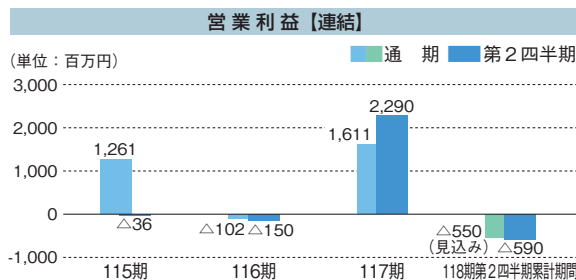
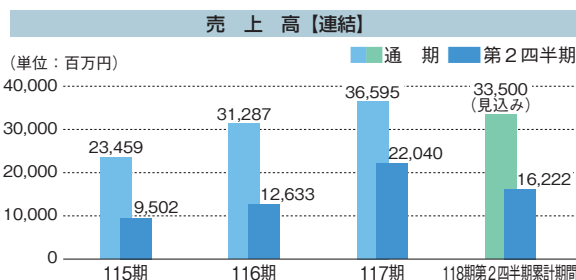
連結経常損益は、受取利息を含む営業外収益22百万円に対し、支払利息を含む営業外費用47百万円が発生したことから、前年同期比28億82百万円減少の6億15百万円の損失となりました。

第2四半期連結累計純損益は、特別利益として債務保証損失引当金戻入額等19百万円を計上し、他方、特別損失として貸倒引当金繰入額18百万円および債務保証損失引当金繰入額3百万円等21百万円を計上した結果、6億27百万円の損失となりました。

なお、中間配当につきましては、誠に申し訳なく存じますが見送りとさせていただきます。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成21年12月



セグメント情報

貴金属事業部門

貴金属事業部門は、営業の強化を図るため支店の新設を鋭意進めており、平成21年4月新設の仲御徒町支店を含め13支店体制となりました。

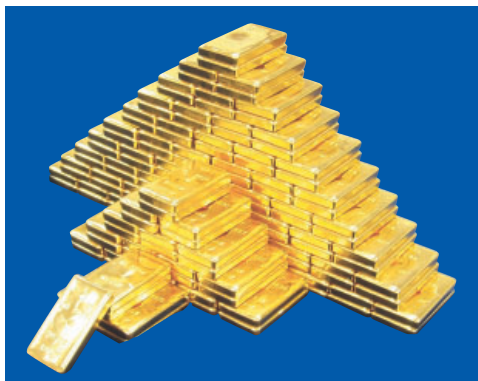
また、東京工場における金の生産能力は、溶媒抽出設備の増設が平成21年3月末までに完了したことから、月産1,000キログラム（400キログラムの増強）となりました。

この結果、東京工場における金の生産量は、前年同期比9.8%増加の4,019キログラムとなりました。

売上高につきましては、金の生産・販売は順調に推移したものの、景気の低迷により商事部門の売上高が大幅な落込みとなったことから、前年同期比6億66百万円減少の156億6百万円となりました。

営業損益は、原料の仕入が競争激化により厳しくなっていることに加え、売上高の減少および固定費の増加等があったことから、前年同期比1億20百万円減少の1億73百万円の損失となりました。

また、国内金建値（期中平均）は、1グラム当たり2,914円（前期3,040円）となりました。



金地金（1キログラム）



東京工場分析室

不動産事業部門

不動産事業部門の売上高は、都内の1物件販売および不動産賃貸収入等を合わせて2億68百万円、前年同期比45億56百万円の大幅な減少となりました。

営業損益につきましては、売上高が大幅に減少したことから前年同期比30億38百万円減益の、1億86百万円の損失となりました。

厳しい状況が続いておりますが、景気回復後を見据え不動産の企画、販売、開発を中心として、事業展開をすることにより、売上高および利益の増大を図ってまいります。

機械事業部門

機械事業部門は、急激な環境悪化を受け、前年度の札幌支店、浜松営業所に続き、平成21年9月には茅ヶ崎支店を閉鎖いたしました。

また、一部人員を貴金属事業部に配置転換する等、事業の再構築を急ピッチで進めております。

現在、5支店において営業展開を図っており、早急に黒字化を目指します。

売上高は、設備投資の大幅な抑制に伴い、販売価格が急速に下落したことに加え、販売台数も激減したことから、2億56百万円、前年同期比6億87百万円の大幅減少となりました。

営業損益は、前年同期比1億33百万円改善し、1億35百万円の損失となりました。

景気回復時には同業他社に先駆けて、優位な仕入販売ができるよう情報の収集に注力してまいります。

投資事業部門

投資事業部門は、有利で安定した運用を基本とし、有価証券等に投資を行っており、売上高は90百万円となりました。

また、営業利益は同額の90百万円となりました。

今後、投資事業は有利で安定した運用を基本として債権の売買、有価証券の保有および売買、運用その他の投資等を行ってまいります。

事業セグメント別の売上高は次のとおりであります。

事業区分	当第2四半期連結累計期間 百万円	前第2四半期連結累計期間 百万円	前年同期比 百万円
貴金属事業	15,606	16,272	△ 666 (△ 4.1%)
不動産事業	268	4,824	△4,556 (△ 94.4%)
機械事業	256	943	△ 687 (△ 72.8%)
投資事業	90	—	90 (—%)
合計	16,222	22,040	△5,818 (△ 26.4%)

トピックス

1. 貴金属事業部

(1) 店舗の新設、金溶媒抽出設備増設について

① 仲御徒町支店の新規オープンについて

貴金属事業部では、平成21年4月1日に仲御徒町支店を新規オープンいたしました。

仲御徒町支店におきましては、ダイヤモンドのルースの販売、各種ジュエリー商品の販売に加えて貴金属の買取業務を行ってまいります。

ルピナス銀座店および仲御徒町支店の宝飾部門につきましては、ダイヤモンドの在庫を豊富に取り揃えており、お客様に満足していただける商品をご提供してまいります。

② 金溶媒抽出設備増設について

東京工場は、生産量の大幅な引き上げを計画し、平成21年3月末までに、溶媒抽出設備3基および付属設備の増設が完了いたしました。

これにより、月産1,000キログラム生産体制が整いました。

また、貴金属事業部は、営業強化および金原料集荷強化のため、支店の新設を鋭意進めております。



純金 瑞雲昇龍（商品の一例）



金地金1キログラム10本入り

(2) 製品、中外鉱業オリジナルミニバー、商品について

①製品について

主力の製品である金地金1キログラムバー（純度99.99%）は、伝統と信頼の中外ブランドとして、高品質を保ち個人資産、お祝い用など各方面からご好評をいただき、高い評価を得ております。工業用の高純度金ターゲット（純度99.999%）、宝飾用の材料についても加工販売を行っております。

②中外鉱業オリジナルミニバーの販売について

当社は、伝統と信頼の中外ブランドの純金（純度99.99%）12キログラム金地金を独立行政法人造幣局に納入するほか、オリジナルブランドの金地金1キログラムの販売を行ってまいりましたが、この度、お客様のご要望にお応えし500グラム、100グラム、50グラムに加え5グラムのミニバーの販売を開始いたしました。

ハンドメイド仕上げになっておりますので、純金のつややかな輝きがより温かみのあるものに感じられ、柔らかな雰囲気が特徴的です。

ご自身の資産としてだけでなく、贈り物などにもお勧めです。

③商品について

景気低迷の逆風にもかかわらず、個人および法人向けとしてご贈答用に金製品、銀製品の引合いを多数いただいております。

お客様のご要望に沿うべく、各種商品を揃えております。

貴金属事業部のホームページアドレスは次のとおりです。

<http://www.jigane.com/>



独立行政法人造幣局へ納入の
金地金



金地金（1キログラム）



金地金詰め合せセット



金地金（5グラム）

(3) 宝飾部門について

ルピナス銀座店、仲御徒町支店におきましては、ダイヤモンドのルースの販売を中心として、各種ジュエリー商品の販売を行っております。

ダイヤモンドの在庫を豊富に取り揃えており、お客様に満足していただける商品をご提供してまいります。

また、当社では形が古くなり使用していない宝飾品、また、思い出深い宝飾品を最新のデザインにジュエリーリフォームするサービスを行っております。

どのようなご要望にも、お応えできる体制を整えておりますので、是非一度ご相談ください。

宝飾部門のホームページアドレスは次のとおりです。

<http://www.lupinus-japan.com>

貴金属事業部は、今後とも地球に優しいリサイクル事業を柱に、新技術の確立や新製品の提案を行ってまいります。



K18WGダイヤモンドネックレス（商品の一例）



Pt900ダイヤモンドリング（商品の一例）

2. 不動産事業部

不動産市況は、大幅な市場価格の下落があり、引き続き厳しい状況下ではありますが、これに対応できる体制を構築してまいります。

不動産事業部は、優良不動産の仕入販売に注力し、収益の更なる増大を図ってまいります。

3. 機械事業部

機械事業部は各種中古工作機械、鍛金機械等の仕入れ・販売を行っており、業界ではトップクラスの地位を占めております。

今後とも、顧客ニーズに応えるべく営業展開を図ってまいります。

(1) 茅ヶ崎支店の閉鎖について

新品工作機械同様中古工作機械の受注も厳しい状況下にあることから、平成21年9月に茅ヶ崎支店を閉鎖いたしました。

人員についても削減し、貴金属事業部に異動する等、事業の再構築を鋭意進めております。

(2) 月刊誌「ニューマシンツール」について

毎月1回の発行にて、最新の中古工作機械、鍛金機械等の情報を掲載しております。

機械事業部のホームページアドレスは次のとおりです。

<http://www.intexkikai.com/>



放電加工機



NC旋盤



平面研削盤



毎月発行の中古工作機械専門誌



立型マシニングセンタ

ハイライト

1. 本社建物賃貸借契約の一部合意解約について

当社は、業績の早期改善を目指し、経費の大幅削減を図るため、平成21年4月、本社の建物賃貸借契約の一部を合意解約いたしました。

これにより、年間2億円強の経費削減となります。

2. 株式会社日本政策金融公庫からの借入れについて

平成21年6月22日開催の臨時取締役会において、株式会社日本政策金融公庫からの借入れを承認決議し、平成21年6月30日借入を実行いたしました。

借入金総額	500,000,000円
(内訳) 設備資金	170,000,000円 (返済期限10年)
運転資金	330,000,000円 (返済期限5年)

資金は、当社の主力事業である貴金属事業部東京工場における金の増産設備および金原料の買取増加資金として使用いたします。

当社は、月産1,000キログラムの金の生産を目指しております。

3. 日本鉱業協会の理事就任について

当社は、日本鉱業協会の鉱種別会員のなかから「金・銀」の理事に選出され、平成21年4月1日就任いたしました。

これは当社の長年にわたる金・銀のリサイクル事業が評価されたものであり、理事の一員として、今後も日本鉱業協会の発展のため尽力する所存であります。

財務諸表

四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期末	前第2四半期末	科 目	当第2四半期末	前第2四半期末
	平成21年9月30日現在	平成20年9月30日現在		平成21年9月30日現在	平成20年9月30日現在
資 産 の 部			負 債 の 部		
[流 動 資 産]	7,525	9,768	[流 動 負 債]	324	375
現金及び預金	2,928	5,643	支払手形及び買掛金	10	30
受取手形及び売掛金	1,810	148	短期借入金	47	-
有 価 証 券	4	14	1年以内に返済予定の長期借入金	96	52
商品及び製品	609	754	未 払 金	55	98
仕 掛 品	673	378	未 払 法 人 税 等	25	25
原材料及び貯蔵品	44	59	債務保証損失引当金	38	109
仕掛不動産	1,060	2,626	そ の 他	51	58
預 け 金	250	-	[固 定 負 債]	523	113
そ の 他	148	147	長期借入金	404	14
貸倒引当金	△ 2	△ 2	長期未払金	75	85
[固 定 資 産]	2,129	3,126	金属鉱業等鉱害防止引当金	7	7
有形固定資産	1,460	2,086	預り敷金保証金	3	6
建物及び構築物	318	719	債務保証損失引当金	34	-
機械装置及び運搬具	287	197	負 債 合 計	848	489
土地	826	1,148	純 資 産 の 部		
そ の 他	26	21	[株 主 資 本]	8,807	12,404
無形固定資産	372	469	資 本 金	12,782	12,782
地上権	365	461	利 益 剰 余 金	△ 3,944	△ 346
そ の 他	7	8	自 己 株 式	△ 30	△ 30
投資その他の資産	297	570	[少 数 株 主 持 分]	-	0
投資有価証券	101	100	純 資 産 合 計	8,807	12,405
長期未収入金	421	381	負 債 純 資 産 合 計	9,655	12,894
出 資 金	9	11			
敷金及び保証金	162	437			
そ の 他	22	21			
貸倒引当金	△ 420	△ 381			
資 産 合 計	9,655	12,894			

四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期連結累計期間	前第2四半期連結累計期間
	平成21年4月1日～平成21年9月30日	平成20年4月1日～平成20年9月30日
売 上	16,222	22,040
売 上 原 価	16,161	18,868
売 上 総 利 益	60	3,172
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	651	882
営 業 利 益 又 は 営 業 損 失 (△)	△ 590	2,290
営 業 外 収 益	22	21
受 取 利 息	0	0
国 庫 補 助 金 収 入	9	9
違 約 金 収 入	7	—
そ の 他	5	10
営 業 外 費 用	47	44
支 払 利 息	3	1
休 山 管 理 費	41	39
そ の 他	2	3
経 常 利 益 又 は 経 常 損 失 (△)	△ 615	2,266
特 別 利 益	19	20
債 務 保 証 損 失 引 当 金 戻 入 額	19	20
貸 倒 引 当 金 戻 入 額	0	0
特 別 損 失	21	2,623
債 務 保 証 損 失 引 当 金 繰 入 額	3	—
貸 倒 引 当 金 繰 入 額	18	20
仕 掛 不 動 産 評 価 損	—	1,804
た な 卸 資 産 評 価 損	—	97
減 損 損 失	—	698
そ の 他	—	3
税 金 等 調 整 前 四 半 期 純 損 失 (△)	△ 617	△ 336
法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税	10	10
少 数 株 主 利 益 又 は 少 数 株 主 損 失 (△)	—	△ 1
四 半 期 純 損 失 (△)	△ 627	△ 346

四半期貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期末	前第2四半期末	科 目	当第2四半期末	前第2四半期末
	平成21年9月30日現在	平成20年9月30日現在		平成21年9月30日現在	平成20年9月30日現在
資 産 の 部			負 債 の 部		
[流 動 資 産]	7,837	9,625	[流 動 負 債]	214	303
現金及び預金	2,577	5,368	買掛金	10	30
受取手形	1,788	-	1年以内に返済予定の長期借入金	96	52
売掛金	22	148	未払金	21	50
有価証券	4	14	未払費用	7	7
商品及び製品	535	353	未払法人税等	21	20
仕掛品	673	378	前受金	4	5
原材料及び貯蔵品	44	59	預り金	2	2
仕掛不動産	1,060	2,609	債務保証損失引当金	38	109
短期貸付金	865	556	その他	11	22
預け金	150	-	[固 定 負 債]	533	116
その他	120	141	長期借入金	404	14
貸倒引当金	△ 2	△ 2	長期未払金	60	67
[固 定 資 産]	1,716	3,565	金属鉱業等鉱害防止引当金	7	7
有 形 固 定 資 産	820	1,427	預り敷金保証金	28	27
建物	210	602	債務保証損失引当金	34	-
構築物	0	0	負 債 合 計	748	419
機械及び装置	270	169	純 資 産 の 部		
車両運搬具	0	1	[株 主 資 本]	8,805	12,771
土地	313	635	資 本 金	12,782	12,782
その他	25	19	利 益 剰 余 金	△ 3,945	20
無 形 固 定 資 産	369	466	繰越利益剰余金	△ 3,945	20
地上権	365	461	自 己 株 式	△ 30	△ 30
その他	4	5	純 資 産 合 計	8,805	12,771
投資その他の資産	526	1,671	負 債 純 資 産 合 計	9,554	13,191
投資有価証券	1	0			
関係会社株式	100	807			
長期未収入金	421	381			
出資金	1	3			
長期貸付金	395	430			
敷金及び保証金	141	409			
その他	17	21			
貸倒引当金	△ 552	△ 381			
資 産 合 計	9,554	13,191			

四半期損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期累計期間	前第2四半期累計期間
	平成21年4月1日～平成21年9月30日	平成20年4月1日～平成20年9月30日
売 上 高	15,952	21,102
売 上 原 価	15,940	17,933
売 上 総 利 益	12	3,169
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	491	623
営 業 利 益 又 は 営 業 損 失 (△)	△ 479	2,545
営 業 外 収 益	24	30
受 取 利 息	9	8
国 庫 補 助 金 収 入	9	9
そ の 他	5	12
営 業 外 費 用	47	44
支 払 利 息	2	1
休 山 管 理 費	41	39
そ の 他	2	3
経 常 利 益 又 は 経 常 損 失 (△)	△ 502	2,532
特 別 利 益	19	20
債 務 保 証 損 失 引 当 金 戻 入 額	19	20
貸 倒 引 当 金 戻 入 額	0	0
特 別 損 失	140	2,526
債 務 保 証 損 失 引 当 金 繰 入 額	3	—
貸 倒 引 当 金 繰 入 額	137	20
仕 掛 不 動 産 評 価 損	—	1,804
減 損 損 失	—	698
そ の 他	—	3
税 引 前 四 半 期 純 利 益 又 は 税 引 前 四 半 期 純 損 失 (△)	△ 622	25
法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税	6	5
四 半 期 純 利 益 又 は 四 半 期 純 損 失 (△)	△ 629	20

会社概要 (平成21年9月30日現在)

会 社 名 中外鉱業株式会社
(英文名) Chugai Mining Co., Ltd.
本 社 〒100-6312
東京都千代田区丸の内二丁目4番1号 丸ビル
TEL 03-3201-1541(代)
FAX 03-3201-5019
http://www.chugaikogyo.co.jp
創 立 昭和7年5月2日
資 本 12,782,064,884円
発行可能株式総数 527,000,000株
発行済株式の総数 289,747,982株

■事業所

東 京 支 店 〒100-6312
東京都千代田区丸の内二丁目4番1号 丸ビル
TEL 03-3201-1542 FAX 03-3201-1600
御 徒 町 支 店 〒110-0005
東京都台東区上野五丁目25番16号 ウエハラビル
TEL 03-3832-1261 FAX 03-3832-1263
御 徒 町 南 口 支 店 〒110-0005
東京都台東区上野五丁目13番11号 二栄ビル
TEL 03-5812-9020 FAX 03-3835-2444
仲 御 徒 町 支 店 〒110-0005
(平成21年4月1日新設) 東京都台東区上野五丁目15番16号 川村ビル
TEL 03-6803-2581 FAX 03-6803-2583
新 宿 西 口 支 店 〒160-0023
東京都新宿区西新宿七丁目2番10号 栄立新宿ビル
TEL 03-5913-7800 FAX 03-5913-7801
銀 座 支 店 〒104-0061
東京都中央区銀座一丁目14番12号 楠本第17ビル
TEL 03-6427-6600 FAX 03-6427-6622
ルピナス銀座店 〒104-0061
東京都中央区銀座四丁目3番7号 猿谷ビル
TEL 03-5159-7555 FAX 03-6913-3393
五 反 田 支 店 〒141-0031
東京都品川区西五反田二丁目7番11号 intex
TEL 03-6225-0706 FAX 03-6225-0716
甲 府 支 店 〒400-0031
山梨県甲府市丸の内二丁目8番3号 丸和ビル
TEL 055-227-3500 FAX 055-227-3330
名 古 屋 支 店 〒460-0011
名古屋市中区大須三丁目15番16号 第一水野ビル
TEL 052-242-0676 FAX 052-242-6778
大 阪 支 店 〒542-0081
大阪市中央区南船場四丁目6番10号 新東和ビル
TEL 06-4704-5061 FAX 06-4704-5062

■事業所

福 岡 支 店 〒810-0001
福岡市中央区天神五丁目7番3号 福岡天神北ビル
TEL 092-405-8010 FAX 092-405-8623
仙 台 支 店 〒980-0021
宮城県仙台市青葉区中央二丁目11番30号 YSビル
TEL 022-397-7511 FAX 022-397-7512
東 京 工 場 〒143-0003
東京都大田区京浜島二丁目12番16号
TEL 03-3790-7130 FAX 03-3799-4091
持 越 工 場 〒410-3206
静岡県伊豆市湯ヶ島892番地41
TEL 0558-85-0762 FAX 0558-85-1547

■役員

代表取締役社長 安 藤 道 明
常務取締役 小 川 幸 重
取 締 役 阿 部 守 守
取 締 役 菅 澤 春 幸
常勤監査役 西 元 丈 夫
社外監査役 山 崎 康 雄
(弁護士)
社外監査役 内 田 雅 敏
(弁護士)
社外監査役 高 橋 信 行
(公認会計士)

■連結子会社

株式会社インテックス

■非連結子会社

株式会社キャリアメイト

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

基準日 定時株主総会の議決権 毎年3月31日

期末配当 毎年3月31日

中間配当 毎年9月30日

株主名簿管理人 東京都港区芝三丁目33番1号

中央三井信託銀行株式会社

郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号

中央三井信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) 電話 0120-78-2031 (フリーダイヤル)

取次事務は中央三井信託銀行株式会社の全国各支店
ならびに日本証券代行株式会社の本店および全国各
支店で行っております。

- ・住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

- ・未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

単元株式数 100株

公告方法 日本経済新聞

上場取引所 東京、大阪各証券取引所